



読み書き
計算

2-1-3

これならできる！

授業形態	自校	他校	巡回
	個別指導	グループ指導	

実態：中学生

- ・漢字を覚えられず、文字も書こうとしない。数学は本人にとって得意な教科の一つである。
- ・言葉でのコミュニケーションが苦手である。

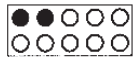
長期目標

- ・方程式が解けるようになる。
- ・小学校4年生までの漢字を読めるようになる。
- ・対人関係スキルを身に付ける。

通級での指導・支援

方程式が解けるように

- ウォーミングアップをする。
 - ・ドットカードでワーキングメモリーを鍛える。
 - ・サイコロの目でかけ算をする。



「ぱっと見て、10の補数を答えてね」
「正解は8だね」

できるだけ早く答えよう。
今日は7の段の九九！



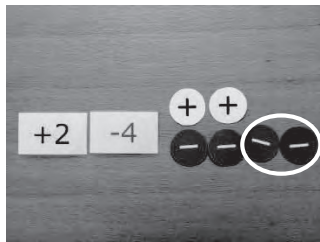
ななご・・・
35だ！

九九は言いやすい言い方でいいよ

- 正の数カード、負の数カードで数唱をする。
- +-チップで計算の達人を目指す。



+-チップ



+2-4の計算の場合

+2は+チップが2個、
-4は-チップが4個、
チップは-チップが2個多いので、
答えは-2

小学校4年生までの漢字を読めるように

- 数学の問題文で漢字の読み方を練習する。
 - ・4年生までの漢字を使って、得意教科である数学の文章問題を作る。問題文は長くしておき、できるだけ漢字を読む機会を増やす。

通常の学級での指導・支援

- ・全体指示の後、本人の求めに応じて説明を加える。
- ・教員の指示は短く端的に伝え、本人が理解できているのか確認する。
- ・図やイラストなどを多く使った補助プリントを使う。

- ・読めない漢字に読み仮名を付けたリ、読み上げをしたりする。

通級での変容

- * 分からないときには机に伏せたり黙ったりしてしまうのではなく、「先生、来てください」「ここを教えてください」など伝えられるようになった。
- * マンツーマン指導なのですぐにサポートがもらえ、できることが増えた。
- * 苦手な文章を読むことや書くことにも取り組むようになってきている。

通常の学級での変容

- * 1学期、授業ではできそうな内容でも机に伏せていることが多かった。数学の授業では質問に答えたり、板書を写したりする姿が見られるようになった。



読み書き
計算

2-1-4 英単語を覚えられるようになったよ

授業形態	自校	他校	巡回
	個別指導	グループ指導	

実態：中学生 ・聞いたことを理解するまでに時間がかかり、言葉のやりとりが苦手である。 ・文字のバランスが悪い。不器用さがある。 ・英単語を覚えることが難しい。	長期目標 ・自立的、自発的に英語の学習ができる。 ・単語テストで点数を採ることができる。 ・学習で「分からないこと」や「困ったこと」があったとき、相手に伝えることができる。
---	--

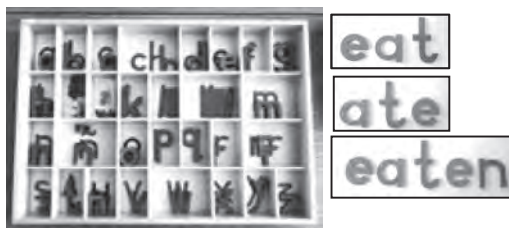
通級での指導・支援

自発的に英語の学習ができるように

- 基礎になる「読み書きに必要な力」を付ける。
 - ・ビジョントレーニングをする。
 - タングラム
 - バランスボード
 - 『〇×数字レース』
 - ・聞くトレーニングをする。
- 英単語を覚える。
 - ・単語の音割り
 - ・〔移動英文字の箱〕
 - 積み木を見たり触ったりし、様々な感覚を使いながら英文字を覚える。
 - ・DAISY教材
 - 《PLEXTALK Producer》にて作成
 - 《いーリーダー》にて再生
- 英文法の練習をする。
 - ・《早打ち英文法》のアプリを使って、文法・単語練習をする。



〇×数字レース



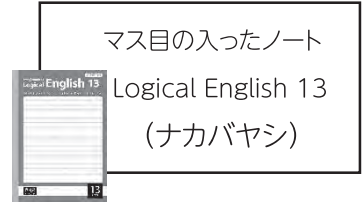
移動英文字の箱



いーリーダー

通常の学級での指導・支援

- ・次の授業の内容が理解できるよう、教科担当と打ち合わせをする。
- ・授業スタート時に学年全員に配布して使用する。
 - マス目の入ったノート
 - Logical English 13 (ナカバヤシ)
- ・定期テスト前は課題の提出が多いため、課題の量や提出日について、本人と教科担当で話して決める。
- ・定期テストの一週間前から教室を開放し、学習支援を行う。通常の学級担任が参加するよう呼びかける。



通級での変容

- * DAISY教材で練習することで、書いても覚えられなかった単語を覚えられるようになった。自分なりの覚え方を見つけて、学習に対して以前にも増して積極的な姿が見られるようになった。
- * 結果が出たことで自信をもち、周りの友だちや教員に質問できるようになった。

通常の学級での変容

- * 単語テストで点数が採れるようになり、表情が明るくなった。
- * 授業に対して前向きになり、次の授業の内容を自分で教科担当に聞くようになった。



読み書き
計算

2-1-5

こんな勉強方法があるんだ

授業形態	自校	他校	巡回
	個別指導	グループ指導	

実態:中学生

- ・視空間認知に弱さがある。
- ・漢字を書くことが特に苦手である。
- ・英文はほとんど読めず、英語への苦手意識が強い。

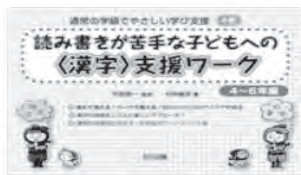
長期目標

- ・小学校6年生までの漢字の読み書きができるようになる。
- ・フォニックスを手がかりに、英単語が「読める」という体験を積み重ねて、苦手意識を軽減する。

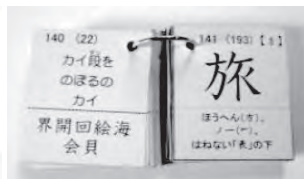
通級での指導・支援

小学校6年生までの漢字の読み書きができるように

- 形をよく見て、見比べる練習をする。
 - ・『コグトレ』(間違いさがし、記号さがし等)
- 漢字の学習をする。
 - ・『〈漢字〉支援ワーク』、『漢字イラストカード』
 - 『ミチムラ式漢字カード』(使用方法についてはHP参照)を用いて、書く回数を減らして漢字の読み書きを学習する。



〈漢字〉支援ワーク



ミチムラ式漢字カード



コグトレ



漢字イラストカード

通常の学級での指導・支援

- ・学習プリントや定期テストでは、拡大したものを渡す。
- ・読めない漢字に読み仮名をふる。

英単語が読めるようになるために

- 『はじめてのジョリーフォニックス』を活用して学習する。
 - 〈付属のCDのほか、無料アプリも活用〉
 - 1. ストーリー (英語のストーリーを聴く)
 - 2. アクション 3. 読む 4. 音の聞き取り
 - 5. 文字の形を覚える 6. 書く 7. 歌
- 「耳で聞いて、目で見て、動作して」を繰り返し、音を細分化する(セグメンティング)、音と音をくっつける(ブレンディング)を通し、英単語を身に付けていく。



はじめてのジョリーフォニックス

小学校の外国語活動でも使えます。

通級での変容

- * 英単語が読めるようになってきた。
(「定期テストの問題文で単語が分かったとき、とてもうれしかった」:生徒談)
- * 電子辞書を使って自分で調べるという習慣が身に付いてきた。

通常の学級での変容

- * 英語で音読するとき、みんなと一緒に声を出せるようになった。
- * プリントを拡大することで意欲的に取り組めるようになってきた。



授業形態	自校	他校	巡回
	個別指導		グループ指導

実態:小学校 低学年

・キ(例:キリンと子リンなど)、ケ(例:とけい→とていなど)の発音に誤りがある。

長期目標

・キ、ケなどのK音の正しい発音を身に付ける。
・発音に気を付けて音読したり、話をしたりする。

通級での指導・支援

発音に気を付けて音読したり、話をしたりできるように

○ 自分の様子や気持ちを伝える。

- ・授業や休み時間にしたこと
をワークシートに書き、発表
する。
- ・グループ内でお互いに聞き
合う。

どんなことをしましたか?おもいだしてかこう わすれたとき、わからないときは「?」や「X」と書いていいです		
① 1じかんめの べんきょう()	😊	😞
	げんき	つかれた
どんな べんきょう?		
② 2じかんめの べんきょう()	😊	😞
	げんき	つかれた

ワークシート 

○ 正しい発音を身に付ける。

- ・正しい音を聞き分ける。
- ・カラスのイラストを見て、カラスの鳴きまねをし、
【ka】の発音を練習する。
- ・【ka】の発音を含む有意味語を、イラストカードを見て練習する。
かめ、かに、かば、かげ、しか、さか、なか、いか等。
『シリーズきこえとことばの発達と支援
特別支援教育における構音障害のある子どもの理解と支援』
『言語聴覚療法シリーズ7 改訂 機能性構音障害』より



○ 気持ちや体をほぐす。

- ・トランポリンを跳んだりバドミントンをしたりする。
- ・トランプなどのカードゲームをする。

通常の学級での指導・支援

- ・学級の子どもたちに、本児が K 音
の発音について練習中であることを
伝える。(2-5-1 参照)
- ・音読や会話につまったら、本児に
はゆっくり、焦らずに話したり、肩
の上げ下げなどして緊張をほぐす
ように促したりする。他児にも静か
に待つよう促す。

通級での変容

- * カ行の発音を聞き分けられるようになって、正しく発音できることが増えた。
- * 家族の中でも、会話をする際には兄弟たちから指摘されるのを気にしていた。そのため引っ込み思案だったが、練習して自分の思いを言えるようになってきた。

通常の学級での変容

- * 授業中に挙手する機会が増えた。指名されても堂々と言えるようになってきた。